

第 233 回 企画展示

青柏祭の曳山行事

—ユネスコ無形文化遺産—

石川県立図書館

《期日》平成 29 年 1 月 4 日（水） ～ 1 月 30 日（月）

《会場》 石川県立図書館 閲覧室

展示によせて

日本時間平成 28 年 12 月 1 日未明、われわれ石川県民にとってうれしいニュースが飛び込んできました。七尾市の「青柏祭せいはいくさいの曳山行事ひきやまぎょうじ」を含む「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産への登録に決定したのです。

この「山・鉾・屋台行事」は、地域社会の安泰や災厄防除を願い、地域の人々が一体となって執り行ってきた、日本各地に伝わる 33 の祭礼行事のことです。石川県としては平成 21 年に登録された「奥能登のあえのこと」につづき 2 番目の登録となります。

無形文化遺産保護条約（正式名称：無形文化遺産の保護に関する条約＝Convention for the Safeguarding of the Intangible Cultural Heritage）によると、「伝統的舞踊、音楽、演劇、工芸技術、祭礼等の無形文化遺産を消失の危機から保護し、次世代へ伝えていくための国際的な協力及び援助の体制を確立することを目的とする。」とあります。

石川県の人口は平成 17 年国勢調査で初めて減少に転じました。時を同じくして死亡数が出生数を上回る自然減少の状態になり、その差は年々拡大しています。若年層の減少により、地域の祭のような伝統行事をはじめ、伝統文化や歴史の継承が難しくなっています。今回の展示では、地域の伝統文化や歴史を後世へ伝えるべく長年収集した資料にどうぞ触れてみてください。

平成 29 年 1 月

石川県立図書館

1. 青柏祭の曳山行事

☆ユネスコ無形文化遺産に登録された「山・鉾・屋台行事」のひとつ、青柏祭の曳山行事とはどのような行事なのでしょう。

「七尾市に伝承されてきた「青柏祭の曳山行事」は、貞享二年（一六八五）の「寺社由来書上」の記録に見えるように古い伝統を継承するものである。青柏祭は、市内山王町に鎮座する大地主神社の例大祭で、決まりの神饌を青柏の葉に盛って供えるのが祭りの名称になったといわれる。古くは、四月の申の日に執行されていた。

この青柏祭には、府中・鍛冶・魚町の三町の“山町”から、それぞれ一台の山車が奉納されるのであるが、山車の形は、末広形とも北前船を模したものとも伝えられる。山車の高さは、約一二メートル、上部の開きは約一三メートル、車輪の直径約二メートルという巨大なもので、（大きいことを「でかい」というので、この山車は「でか山」と呼ばれる）上段に歌舞伎の名場面をしつらえる。

これを曳行する諸役が定まっており、進行方向を修正するには梃子を車輪の下にさし込んでする。また辻廻しという九十度方向転換の場合は、大梃子をもって前輪をもち上げて地車（又は軸車）と称する小車をはめ込んで、一気に方向を変える。T字路など、大梃子を利用出来ないところでは、はね梃子をもって、山車を斜面に押し上げ、前輪を浮かせる「せり上げ」という方法もとられる。」(p6)

・『七尾市の文化財 [2006]』

七尾市教育委員会文化財課 // 編 七尾市教育委員会 2006.3 <K709/51/006>

1. 『貞享二年 石動山清水氏・大森氏触下社家由来帳』

貞享2年（県庁旧蔵史料 社寺 28）

2. 『加越能寺社由来 下巻』

日本海文化研究室 // 編 石川県図書館協会 1975 <K165/9/2>

3. 『七尾市史 資料編 第6巻』

七尾市史編纂専門委員会 // 編 七尾市 1972 <K216/7/1-6>

4. 『無形文化財青柏祭』

中村 敏昭 // 企画・編集 青柏祭実行委員会 1982.5 <K385/73>

5. 『石川県鹿島郡誌 上巻』
石川県鹿島郡誌編纂委員会 // 編 国書刊行会 1984. 2 〈K215/19/1〉
6. 『祭礼行事・石川県 都道府県別』
高橋 秀雄 // 編 今村 充夫 // 編 桜楓社 1992. 7 〈K385/81〉
7. 『国指定重要無形民俗文化財青柏祭曳山行事と見どころ』
中村 敏昭 // 編 青柏会 1995. 5 〈K385/95〉
8. 『郷土資料事典 17 ふるさとの文化遺産』
ゼンリン 1997. 7 〈K290. 9/1002〉
9. 『北国新聞に見るふるさと 110 年 下巻』
北国新聞社 // 編 北国新聞社 2003. 8 〈K070/1002/2〉
10. 『能登 七尾のでか山 青柏祭の曳山行事』
間蔵 俊甫 // 編集・写真 七尾市教育委員会文化課 [2003] 〈K385/1023〉
11. 『図説七尾の歴史 七尾市合併 10 周年記念出版』
図説七尾の歴史編集委員会 // 編 七尾市 2014. 10 〈K216/1010〉

2. 青柏祭にまつわるおはなし

☆青柏祭のはじまりといわれるこんなおはなしがあります。「むかし、むかし」からはじまる、娘思いの父親と「しゅけん」のおはなしの世界をのぞいてみましょう。

「昔七尾の山王社へ毎年一人の美しい娘を人身御供へ差出す習わしであった。或年のこと白羽の矢の立った家の主^{あるじ}が何とかして娘の命を助ける方法がないものかと思案して、一夜社殿にしのみび込んでみたところ何やらつぶやく声が聞こえる。「娘を喰う祭りの日が近づいたが、越後のしゅけんは俺がここにひそんでいることを知るまい。」と知っている。急ぎ越後へ行ってみるとしゅけんとは、前身真白な毛でおおわれた狼であった。その話によると、昔3匹の猿神が他所^{よそこ}の国から渡ってきて人びとに害を与えたため、そのしゅけんが、2匹まで咬み殺した。他の1匹が能登にかくれていることは知らなかった。それでは退治してやろうと、海上を鳥のように飛んで七尾へ到着、娘の身代りになって唐櫃に入り神前に供えられた。

その夜は暴風雨であれ、そして両者の格闘する物すごい物音であった。翌る朝、人びとが行ってみると、大きな猿が朱に染まって打ちたおれ、しゅけんもまた冷い骸^{むくろ}となっていた。

人びとは、しゅけんを手厚く葬むり、また、猿のたたりをおそれて人身御供の代わりに3台の山車を奉納することになった。」(p78)

・『観光100問百答 改訂版 七尾市ものしりガイド』

観光100問百答編集委員会 // 編 七尾市観光協会 1994.8 〈K688/37〉

12. 『能登半島民話遊行』 坪井 純子 // 作 パティ・クリスティナ・ウィリス // 英訳

クリエイティブ・グルーヴィー 1987.12 〈K388/105〉

13. 『常田富士男さんと歩く加賀・能登むかし話の旅 石川県内各地のむかし話を収録』

北國新聞社広告局ネット企画部 2014.5 〈K388/1057〉

3. 青柏祭のごちそう

☆お祭りの楽しみに欠かせないのが酒とごちそう。青柏祭ではどのようなごちそうが振る舞われるのでしょうか。

「うるし塗りの重箱にはタケノコやフキ、焼き豆腐やコンニャクの煮物、刺身、押しずし、はちめの尾刺しなど山海の賜物^{たまもの}が美しく盛り付けてある。」(p194-195)

「母はオザシのハチメが豊漁であることを祈りながら、干したシイタケやゼンマイを水にもどし、塩漬けた山菜やワカメの塩抜きをして、新鮮な竹の子を知り合いの農家に依頼する。」「祭り料理で一番、時間を費やすのは煮しめである。焼豆腐は1度湯がいてから味のついた、だし汁で煮含め、ニンジン^{きれい}は色を綺麗に仕上げるために昆布だしと淡口醤油^{うすくちしょうゆ}で、シイタケは濃いめの味付けにするなど1品ずつ分けて煮るからだ。それらを塗り^{わん}椀に盛り付ける」(p226-227)

「山王神社で開かれる直会^{なおらい}では豪勢な御膳料理が振る舞われる。一の膳は▽サザエの麴漬^{こうじづ}け▽ガンドの刺身▽ハチメの塩焼き▽茶わん蒸し▽タイの煮付け▽煮物▽酢の物が並ぶ。二の膳は▽バイ貝▽べろべろ▽イチゴ▽押しずし▽ニシンの昆布巻き▽中島菜のぬか漬けとなる。これにタケノコやフキ、焼き豆腐など煮物の盛り合わせが添えられる。かつて神事に娘を差し出す代わりに赤、白、紫、青色の餅を供え、騒ぎが治まったという言い伝えから、必ず和菓子の[ながまし]が出されるようになったという。」(p267-268)

「七尾市の青柏祭には、旬の素材を祭りの時期に合わせて発酵させたアカガイのこうじ漬けが定番の祭り料理として用意」(p299)

・『石川・富山ふるさと食紀行 北國新聞創刊 120 周年記念 富山新聞創刊 90 周年念』

北國新聞社 2013.8 (K383/1020)

「青柏祭に欠かせない料理は、たけのこ・フキ・かまぼこ・焼豆腐・こんにゃくの煮しめと、刺身・押し鮭とハチメの塩焼きが膳に並ぶのが、古くからの決まりであった。とくに肴^{さかな}は、赤鯛ではなく、必ずハチメ(メバル)のオザシを添える習慣が名高い。」(p25)

・『国指定重要無形民俗文化財青柏祭曳山行事と見どころ』

中村 敏昭 // 編 青柏会 1995.5 (K385/95)

14. 『新修七尾市史 17』

七尾市史編纂専門委員会 // 編 七尾市 1999.7 〈K216/1002/17〉

15. 『石川・富山ふるさと食紀行 北國新聞創刊 120 周年記念 富山新聞創刊 90 周年記念』

北國新聞社 2013.8 〈K383/1020〉

4. 日本一の曳山いま・むかし

☆百聞は一見にしかず。図書館に所蔵されている資料の中から、日本一といわれるでか山のスケールを感じてみましょう。

「昔の曳山は、車の直径が3尺（1m）で厚さ1尺5寸（50cm）高さ7間（14m）だったそうだが、曳山の下部に重心を増やし安定性をもたすために車輪がだんだん大きくなった記録が残っている。

江戸時代は日本海交易の港町として町衆の繁栄と共に曳山の飾りや人形も華麗になっていき、高さも18mになったが、明治40年頃に電灯電信線が架設されてから、曳山の高さが15m以下に限定されてしまった。しかし重さ20t車輪の直径2mの巨大な曳山は今も昔どおりに組み立てられ、扇をひらいた形の舞台には歌舞伎などの芝居で有名な場面を作り人形を飾って毎年その場面や人形を作り変えて競べをする。能登の気質をそのまま表わした素朴で重量感に満ちた日本一大規模な山車だと昭和49年5月14日にNHKテレビ“スタジオ102”で全国へ実況中継で紹介されたこともある。」（p3）

・『無形文化財青柏祭』

中村 敏昭 // 企画・編集 1982.5 〈K385/73〉

16. 『新修七尾市史 13』

七尾市史編さん専門委員会 // 編 七尾市 2003.3 〈K216/1002/13〉

17. 『ふるさと きらめき館 石川・富山の文化財』

「愛蔵版ふるさときらめき館」編集委員会 // 編 北國新聞社 2011.8 〈K709/1032〉

18. 「国指定重要無形民俗文化財「^{せいばくさい}青柏祭」石川県七尾市 大地主神社」

（『日本の祭り』平成27年秋号 2015.9 p62-65）

5. 能登は祭りの宝庫

☆能登地方には青柏祭をはじめ、さまざまな祭りが存在します。

「能登の祭は生業なりわいに密着したものが多い。それは人々が厳しい風土に精いっぱい生きてきた証あかしなのかもしれない。能登人は昔から生業にいそむ歳月を、神々とともに送ってきた。そして、海の彼方に常世とこよの国が存在することを信じて疑わなかったから、漂着神（寄り神）伝承なども能登の海岸地域に数多く残されており、それが半島ならではの特色であると語り継がれてきた。」（p140）

「能登では、約一〇〇か所でキリコ祭りが行われ、キリコの数は約八〇〇本という。その起源は、昔に神仏とみまうに灯明ほいけんを捧げた敬虔な祈りの行事である。」（p140）

「七尾市のデカ山をはじめ、輪島・宇出津うしつ（能登町）・田鶴浜たつるはま（七尾市）・飯田（珠洲市）・黒島、皆月（輪島市）・上戸うえど（珠洲市）・宝立ほうりゅう（珠洲市）などの曳山祭りは異彩を放っている。（p140）

「能登でにぎわう祭礼のひとつに獅子舞がある。獅子頭を被って舞う神事舞踊であり、「獅子」とは猪・鹿かのししを意味している。竜頭たつがしらを使うところもある。加賀の獅子舞に対して、能登ではやさしい踊り獅子を伝える地方が少なくない。」（p140）

・『図説能登の歴史』

中村/裕 // 監修 郷土出版社 2011.1 〈K210/1007〉

19. 『石崎奉燈祭・能登のキリコ祭り』

朝日新聞社 2004.7 〈K385/1028〉

20. 『お熊甲祭 3訂版 国指定重要無形民俗文化財熊甲二十日祭の梓旗行事』

七尾市教育委員会 // 編 七尾市教育委員会 2013.9 〈K385/1050〉

21. 『日本遺産能登のキリコ祭り』

北國新聞社出版局 // 企画 北國新聞社 2016.6 〈K385/1055〉

展示図書リスト

1. 青柏祭の曳山行事

No.	タイトル	著者名	出版者	出版年	請求記号
1	能登路の旅 続	日置 謙 // 校訂	石川県図書館協会	1970. 9	K080/10/11
2	能登咄でか山まつり	田中 政行 // 著	菊沢書店	1972. 5	K3895/12
3	加賀・能登の伝説	小倉 学 // 共著	角川書店	1976	K388/48
4	石川県の文化財	石川史書刊行会 // 編	石川史書刊行会	1985. 3	K709/65
5	文化誌日本石川県	講談社 // [編]	講談社	1988. 7	K290. 1/50
6	新・七尾の民謡と童唄	新・七尾の民謡と童唄編集委員会 // 編	七尾市音楽文化協会	1994. 3	K388. 9/22
7	七尾の「でか山」	松浦 五郎 // 著	七尾市職員労働組合	1995. 3	K385/96
8	『七尾の「でか山」』追録	松浦 五郎 // 著	七尾地域史研究会	1995. 11	K385/96/T
9	青柏祭曳山行事記録写真集	中村 敏昭 // 編	青柏会事務局	1998. 3	K385/1006
10	でか山車輪修理事業報告書 国指定重要無形民俗文化財 青柏祭の曳山行事	でか山車輪修理保存調査委員会 // 編 七尾市教育委員会文化課 // 編	青柏祭でか山保存会	1999. 3	K385/1011
11	でか山車輪修理事業報告書 魚町でか山車輪保存修理	でか山車輪修理保存調査委員会 // 編 七尾市教育委員会文化課 // 編	青柏祭でか山保存会	2002. 3	K385/1015
12	七尾市の青柏祭に見る伝統の継続と変容	府和 正一郎 // 著	石川地理学会	2002. 8	K385/1017
13	七尾市の文化財 [2006]	七尾市教育委員会文化財課 // 編集	七尾市教育委員会	2006. 3	K709/51/006
14	石川県七尾市の曳山行事	でか山祭り継承事業実行委員会 // 編集	でか山祭り継承事業実行委員会	2014	K385/1060

2. 青柏祭にまつわるおはなし

No.	タイトル	著者名	出版者	出版年	請求記号
1	ふるさとを訪ねて 石川	室生 犀星 // 著	泰光堂	1959. 4	K29/4
2	加賀・能登の民話 第1集	清酒 時男 // 編	未来社	1975	K388/33/1
3	石川の伝説	石川県児童文化協会 // 編	日本標準	1980	K38/1
4	観光100問百答	観光100問百答編集委員会 // 編	七尾市観光協会	1994. 8	K688/37
5	フォークロアとしての供犠譚	由谷/裕哉 // 著	[日本宗教民俗学会]	2006. 3	K164/1005

4. 日本一の曳山いま・むかし

No.	タイトル	著者名	出版者	出版年	請求記号
1	写真で見る日本 7		日本文化出版社	1960	291. 08/10027/7
2	目で見る七尾の100年	七尾市 // 編	七尾市	1969	K216/8
3	石川百年	北陸中日新聞 // 編	北陸中日新聞	1989. 3	K209/39
4	目で見る能登半島の100年	郷土出版社 // [編]	郷土出版社	1994. 12	K210/18

5	保存版能登半島今昔写真帖	中村/裕 // 監修	郷土出版社	2007. 3	K210/1006
6	ふるさと写真館	北國新聞社出版局 // 編集	北國新聞社	2008. 7	K209/1009
7	暮らしの歳時記 石川編	「愛蔵版暮らしの歳時記」編集委員会 // 編集	北國新聞社	2012. 8	K385/1046/1
8	能登半島の昭和	しなのき書房 // 編集	いき出版	2014. 7	K210/1011
9	石川富山昭和あのととき アルバム編		北國新聞社	2014. 8	K209. 7/1005/1

5. 能登は祭りの宝庫

No.	タイトル	著者名	出版者	出版年	請求記号
1	能登半島 宇出津のキリコ祭り	小倉 学 // 著	宇出津祭礼委員会	1965. 7	K385/8
2	カラー 日本のまつり	山と溪谷社 // 編	山と溪谷社	1975	385. 2/21
3	お熊甲祭 国指定重要無形民俗文化財 熊甲二十日祭の杵旗行事	熊甲二十日祭の杵旗行事記録報告書作成委員会 // 共編	中島町教育委員会	1984. 3	K385/45
4	輪島大祭 地方都市の祭礼2	松崎 憲三 // 編	成城大学文化史学科松崎研究室	1995. 3	K385/99
5	ビジュアル版につぼん再発見 17		同朋舎	1997. 7	K290. 1/1001
6	加越能の曳山祭	宇野/通 // 著	能登印刷出版部	1997. 8	K386/1002
7	能登きりこ祭り	渋谷 利雄 // 著	せいしん社	1999. 5	K385/1007
8	能登のくに 半島の風土と歴史	能登のくに刊行会 // 編	北国新聞社	2003. 7	K210/1004
9	石崎奉燈祭・能登のキリコ祭り		朝日新聞社	2004. 7	K291. 4/11
10	加賀・能登の民俗 第2巻 小倉學著作集	小倉/學 // 著	瑞木書房	2005. 3	K382/1011/2
11	あえのこと	さとう/れいこ // 文・英訳	文芸社	2015. 7	K72/1

6. 北陸の「山・鉾・屋台行事」

No.	タイトル	著者名	出版者	出版年	請求記号
1	暮らしの歳時記 富山編	「愛蔵版暮らしの歳時記」編集委員会 // 編集	富山新聞社	2012. 8	K385/1046/2

7. 雑誌記事

No.	タイトル	著者名	収録雑誌
1	「でか山の話」	大林昇太郎 // 著	『七尾の地方史』 第4号 1970. 12 p2-16
2	「でか山こぼれ話 附ちよんこ山の話」	大林昇太郎 // 著	『七尾の地方史』 第5号 1971. 7 p6-17)
3	「七尾の青柏祭」	高柳金芳 // 著	『トランスポート』 24巻4号 1974. 4 p62-63
4	「青柏祭の曳山行事 (5月13日～15日)」	松浦五郎 // 著	『伝統と文化』 第7号ポーラ伝統文化振興財団 1986. 7 p30
5	「七尾のやまに木があるかー青柏祭のでか山の依代ー」	松浦五郎 // 著	『七尾の地方史』 第20号 1987. 5 p97-99
6	「青柏祭 (石川県)」	天野忠良 // 著	『通産ジャーナル』 30巻5号 1997. 5 p4-5

第 233 回 企画展示
「青柏祭の曳山行事」

平成 29 年 1 月 4 日

編集 石川県立図書館展示委員会

発行 石川県立図書館